

花と緑のネットワーク通信

予告

さっぽろ花と緑のネットワークフェア ～ 春の扉を開けましょう ～

日時：2019年3月7日（木）13:00～16:30

場所：札幌駅前通地下歩行空間（7番出口～9番出口）

詳細は同封の案内
チラシをごらんください

今年もさっぽろタウンガーデナーと花と緑のボランティア団体の活動の紹介と、タウンガーデナー登録制度、さっぽろ花と緑のネットワークの取組を紹介するイベントを開催します。

6月から一緒に準備を進めてきた応援スタッフのほか、当日手伝いに参加できるメンバーも加わり、みんなで一緒にPRイベントをつくり上げます。自分たちの活動の様子を自分たちで発信しましょう！！

10月から取材した花と緑のボランティア団体をご紹介します♪

グリーンエフロンズ



エドウィン・ダン記念公園の周囲の樹木になじむよう、花木やグラス類と背の高い宿根草が入ったダイナミックな植栽です。ローメンテナンスで無理のない活動をしています。

NPO法人^{もり}森林遊びサポートセンター



藤の沢小学校の学校林「小鳥の村」で5年生の樹木博士認定を行い、笹刈りを児童に教えて活動を見守りました。スタッフは児童に教えるため頑張っている木の勉強をしています。

むくどりホーム花壇の会



スキの穂が揺れる中、むくどり公園とむくどりホームを出入りして親子が遊んでいました。地域の方の発案で生まれた公園で、地域の方と一緒に活動しています。

百合が原花壇を造り隊



JR 百合が原駅前ロータリー内の花壇で活動しています。みんなでテーマカラーを決めて造った花壇です。秋に町内会の方も参加してバーク堆肥を入れる土壌改良を行いました。

シーディーサンデープロジェクト (SSP)



屯田地区センターで行う「ミニクリスマスリース作り講習会」の話し合いに参加しました。子どもたちに手作りを楽しんでほしいとメンバーは知恵と技術を出し合いました。

園芸療法ぐり～んの会



「特別養護老人ホームみどりの丘」での12月の活動は、正月飾りづくりでした。毎回利用者さんとの会話や笑顔に癒され、次の園芸療法のヒントをもらっているのだそうです。

花と緑のネットワーク活動ひろば

ご参加いただけなかった方へ、情報のおすそ分け!



さっぽろタウンガーデナー講習会

11月から12月にかけて、4回のタウンガーデナー講習会を開催しました。多くのお申し込みをいただきご参加いただきました。ご都合がつかず残念ながらご参加いただけなかった方もいらっしゃいましたので、講習会の中からポイントになる情報をご紹介します。

【北国のバラ 11月7日開催の内容から】

「イコロの森」代表、ローズグロウワーの工藤敏博氏を講師に迎え、北国に適した公共の場所に向くバラについてお話いただきました。ボランティアが限られた時間内で手入れを



するのなら、耐寒性と耐病性のある品種を選ぶことがまず大事なのだそうです。交配の系統にハマナスやノイバラのような北国に自生するものがあれば耐寒性があると判断できます。また、公共の場所にバラが植えられ住宅地のバラとつながると、バラで都市景観を作ることもできると提案されました。

するのなら、耐寒性と耐病性のある品種を選ぶことがまず大事なのだそうです。交配の系統にハマナスやノイバラのような北国に自生するものがあれば耐寒性があると判断できます。また、公共の場所にバラが植えられ住宅地のバラとつながると、バラで都市景観を作ることもできると提案されました。

【宿根草の活用法 12月6日開催の内容から】

「ガーデニング リラの会」所属で大通公園西8丁目花壇担当の熊木真智恵氏を講師に迎え、公共花壇における宿根草の活用法についてお話いただきました。



宿根草は、大きくなりすぎる前に株分けをする。株分けや植え替えのタイミングは春咲きは秋に、秋咲きは春に行くと失敗が少ないそうです。また、花のない期間も葉が美しい種類を効果的に使うこと、花期が限られているので開花している場所が偏らないようにする工夫が必要と教えていただきました。

宿根草は、大きくなりすぎる前に株分けをする。株分けや植え替えのタイミングは春咲きは秋に、秋咲きは春に行くと失敗が少ないそうです。また、花のない期間も葉が美しい種類を効果的に使うこと、花期が限られているので開花している場所が偏らないようにする工夫が必要と教えていただきました。

【コミュニケーションスキル講習会 第1回

11月11日開催の内容から】

「人に伝える話し方」を身につけようをテーマに、コミュニティーFMパーソナリティの木村あゆみ氏を講師に迎え、「良い姿勢と腹式呼吸」についてと「伝えるための準備」について教えていただきました。

人に伝えるためには、10の内容を話すのに10の用意では足りず、100でも1000でも用意が必要があるそうです。相手が何を知りたがっているかをよく聴いて用意した中から選びます。その時用意したものを話さない勇気も必要だと教わりました。



【コミュニケーションスキル講習会 第2回

12月2日開催の内容から】

「話し合いを円滑にするコツ」～緊張を和らげる活動からはじめよう～をテーマに、丸山環境教育事務所の丸山博子氏を講師に迎え、多くのグループワークを行い学びました。

話し合いを円滑にするコツは、①見える化②双方向③協同作業の3つのポイントを取り入れることで話し合いの場を和ませ、コミュニケーションを円滑にすることができることを学びました。大きいカードに名前と好きな花を書いて示しながら行う「見える自己紹介」(①)や講師から出された質問に対してあてはまる答えの色のカードを示す「旗揚げ」(②)、なかなか難しい「葉っぱのパズル」(③)などのグループワークを通して、次第に互いの距離が縮まって緊張が解けていく感覚を体験しました。①～③の3つのポイントは、家庭、町内会、職場、ボランティア団体などでの「話し合いの場」でも活用できそうです。



サポーター養成講座

～教わる人から教える人へ～



「種まき・育苗をマスターして 教える人になろう(全2回)」

今年度最後のタウンガーデナー講習会は、「苗づくりサポーター」の養成講座になります。春から行われる地域での種まき講習会や苗づくりで、サポートやアドバイスできるように、実習、実践を通してスキルを身につけましょう。

第1回：2月13日(水) / 第2回：3月27日(水)

Report さっぽろ花と緑のネットワークフェア（チカホイベント） 応援スタッフミーティング

2019年3月7日に開催する「さっぽろ花と緑のネットワークフェア～春の扉を開けましょう～」では、有志のタウンガーデナーや登録団体のメンバーのみなさんが、イベントを一緒につくりあげる応援スタッフとして、話し合いや準備作業を行っています。

6月に第1回の応援スタッフミーティングを行い、その後は月に1度のペースで集まり、和気あいあいとした雰囲気の中、たくさんのアイデアや意見が出され、回を重ねるごとにイベントの内容が固まってきました。



イベントについての説明



実施内容のアイデア出し



多数決で実施内容などを決定



みんなで協力して、レース生地を裁断しました。



11月に行った第6回のミーティングでは、体験コーナーのサシェ（香り袋）づくりで使うレースの生地やリボンをカットする作業を行うなど着々と準備が進んでいます。

イベント当日の運営も、応援スタッフのみなさんが活躍してくださいませ。ぜひお友達と一緒にご来場ください。

Report さっぽろまちづくり体験実習の様子をご紹介します

10～11月編

市役所前コンテナガーデンづくり



札幌市役所本庁舎前コンテナガーデンづくりの活動は、10月に入って、台風後に行った購入苗や譲り受けた苗を合わせて補植した花が咲き誇り大活躍でした。タウンガーデナーの4つのコンテナには明るい色の花が咲き続け、市役所本庁舎を訪れる市民を春から5カ月の間お迎えしました。10月27日、豪雨の中でコンテナの花を片付け、場所を移動して振り返り会を行いました。「メンテナンスや挿し木を学んでためになった」「活動の後にランチに行ったことが楽しかった」との感想があげられました。活動の中で、まだきれいに咲いている花を迷いながら切り、2週間後の結果をメンバーの中で話し合うことで園芸初心者もベテランも同じように公共の場のコンテナ栽培について丁寧に学びました。



中島児童会館花壇づくり



中島児童会館花壇づくりボランティア「カルガモみどりの会」の10月からの活動では、10月4日に秋の補植として、雪の下で越冬させるパンジー120株と、春に掘り上げておいたチューリップとスイセンの球根を植えました。



11月1日に花壇の片付けと抜いた一年草などを使った堆肥づくりを行い、今シーズン最後の花壇活動日である11月8日に落ち葉を使った腐葉土づくりと年間の振り返り、プラントハンガーづくりをしました。2019年2月には、新たなシーズンのテーマ等を決める話し合いがはじまります。「カルガモみどりの会」は、楽しくためになるボランティア活動や花と緑の情報交換の場として、これからも活動を続けていきます。



＊ さっぽろ花と緑のまちづくり講演会 2018 開催報告 ＊



2018年11月4日(日曜日)、札幌ビューホテル大通公園ピアリッジホールで、さっぽろ花と緑のまちづくり講演会 2018「園芸は楽しい方が良く～楽しすぎる暮らしのために～」を開催しました。講師には、花壇ボランティア運営の指導や花壇管理を行うほか、NHK 朝の情報番組「あさイチ グリーンスタイル」「趣味の園芸」にも出演されている園芸家の杉井志織氏をお迎えしました。講演会には、タウンガーデナーと登録団体所属の方、一般の方を合わせて 135 人が参加されました。

杉井さんはローメンテナンスにより植物と人にとってストレスをなくすことで園芸を楽しむことと、身の回りにあるものを工夫して花器に使うなど植物を生活の中に取り入れて暮らしを楽しむことなどを具体的にスライドで紹介してくださいました。何よりも杉井さんの明るい語り口から、楽しく園芸に関わっている様子が伝わって、みなさんの心をつかんだのではないのでしょうか？ 参加者のみなさんからは「すぐ家で活用したい」ととても好評でした。



交流会では北海道のガーデニング情報誌「まいろふえ」編集長の川合美帆氏も加わり、公共花壇の色合わせのテクニックについてのお話や、参加者のテーブルを回るフリートークで交流しました。杉井さんの楽しい講演を聞いた後で気になったことを直接質問するなど、和やかな雰囲気での交流が深まりました。



登録団体向け

技術指導講師派遣事業 随時受付中



さっぽろ花と緑のネットワーク事務局では、団体の要望に応じ、各分野の講師派遣を行っています。随時受け付けておりますので、興味のある方はお気軽に事務局までご相談ください。(会場および材料等はお申込団体で準備していただきますが、ご不明な点はお問い合わせ、ご相談ください)

お申込み、お待ちしております。

インフォメーション Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2018年12月31日現在

さっぽろタウンガーデナー (357名)							
中央区	45名	北区	51名	東区	42名	白石区	22名
厚別区	38名	豊平区	40名	清田区	22名	南区	32名
西区	28名	手稲区	26名	その他	11名		
花と緑のボランティア団体 (全 32 団体)							

年間活動報告書の提出をお願いします！

登録更新の時期を迎えました。年間活動報告書の提出をもって登録更新となりますので、同封した用紙に必要事項をご記入の上ご提出ください。

提出期限は **2月28日(木)** となります。

登録更新手続き完了のお知らせ、新しい名札などは 3 月下旬ごろにお届けする予定です。ぜひ、登録を更新しこれからも活動を継続してください。

新たに仲間になりました (10月～12月)

・新規タウンガーデナー 2名

編集後記

- ・この冬、種まきも含めた来季の計画をじっくり立ててみてはいかがでしょう？ (伊藤)
- ・これまで講習会をみなさんと一緒に受けました。わが家の庭も来年こそどうにかしなきゃ!! (齋藤)

発行・編集

◆さっぽろ花と緑のネットワーク事務局
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階
(公財)札幌市公園緑化協会内

TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577
E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp

主催

◆札幌市建設局みどりの推進部

